



アンビシャス



通巻200号記念ご挨拶・ご祝辞
難病情報誌『アンビシャス』の歩み
表紙は語る

「先天性リンパ浮腫」

を持つ子の母親として

アンビシャス通信

11月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンプルー

シリーズ 第45回

『患者学』 加藤 眞三教授

アンビシャス広場

エッセイ 西兼盛 鉄さん

難病短歌・川柳

お勧め映画情報、占い

沖縄県難病団体の掲示版

団体定例会・交流会スケジュール

沖縄県内難病患者団体一覧

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

難病コミュニケーション支援

研修会のご案内

治療と仕事の両立支援のご案内

平成30年度

セカンドオピニオンのご案内

200号記念誌ご協賛広告

通巻200号記念のご挨拶



沖縄県難病相談支援センター
アンビシャス

理事長 迫 幸治

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。難病情報誌「アンビシャス」通巻200号記念誌を発行するにあたり御挨拶申し上げます。

アンビシャスでは平成14年2月にNPO法人として発足以来、難病の方やそのご家族及び関係者を対象として難病情報誌『アンビシャス』を毎月発行してまいりました。

同誌は難病の方自身の体験談を中心に幅広く難病情報や患者会情報等を取り上げ、沖縄県内のみならず、広く県外の方にもご愛読いただいている情報誌となっています。

発行当初はコピー機を使用したミニコミ誌的な内容でしたが、

難病をお持ちの方の体験談の掲載、交流会の案内等、読者の皆様の声を可能な限り反映させ、内容の充実を図ってまいりました。その間、アンビシャスの活動内容も平成17年の沖縄県から沖縄県難病相談支援センターの受託、平成21年、県内初の認定NPOとして認可。NPO組織としての内容の拡大と相まって、難病情報誌「アンビシャス」もその節目、節目で、有用な情報を提供できたと自負しています。

通巻200号記念誌に至るまでの過程では行政をはじめ企業や多くの情熱のある個人の皆様からのご支援、ご助言をいただきました。ここに改めて深く感謝申し上げます。

私どもは難病に関係する皆様の情報誌として、さらに充実した誌面作りを図って参ります。今後ともなお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



沖縄県難病相談支援センター
アンビシャス

副理事長 照喜名 通

難病情報誌「アンビシャス」が200号となり、改めて身の引き締まる思いがしています。創刊時、難病といえど、健康者でも、障がい者でも無く、一般の方にはほとんど知られていない状況でした。難病に関する情報も少なく、難病を持つようになった本人や家族は悩み孤立していました。当誌はその様な方々を孤立させてはいけな、何とかしなければとの思いからスタートしました。

誌面を通して、他の難病を持つ人がどんな生活をし、どのよう受け止めているのかを共有できていると思います。苦しい思いをしているのは自分だけでは無い、自分より苦しいと思わ

れる人がこんなにも元気そうにしている。ならば、自分も頑張れる。と感想を頂くことは少なくありません。

エビデンスとして効果測定は出来ませんが、当誌の顔である体験談の投稿者の皆さまのお蔭で、明らかに難病に対する沖縄の現状は変わってきたと感じます。体験談をお寄せ頂いた皆様に誌面をお借りして御礼申し上げます。

またご祝辞を賜りました、沖縄県保健医療部 地域保健課 課長 山川 宗貞様、独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院 脳・神経・筋疾患研究センター センター長 諏訪園 秀吾様に厚く御礼申し上げます。併せて広告のご協賛を頂きました企業の皆様にも御礼申し上げます。

当誌はご愛読頂いている読者の皆様のご支持に支えられ、今日まで継続する事が出来ました。ここに深く感謝申し上げます。今後ともご愛読をお願いいたします。

通巻200号記念御祝辞



沖縄県保健医療部 地域保健課

課長 山川 宗貞

このたびは、難病情報誌「アンビシャス」が200号の節目を迎えられ、特別記念号の発刊となりましたことを心よりお慶び申し上げます。

認定NPO法人アンビシャスにおかれましては、難病の患者及び家族はもとより、県内各地の関係機関に対し、きめ細やかな相談対応や情報提供等の活動を行っておられます。

その活動において、情報誌「アンビシャス」の発行は難病に関する取組の紹介の他、難病患者の声を読者に届けるなど難病に対する関心を高め、難病患者さんが地域で尊厳を持つて生きることのできる社会構築に重要な役割を果たしております。また、難病相談支援センターとして培ったネットワークを活用し、情報

誌が県内外の広範囲に届けられることで、多くの人・関係機関がつながり、より効果的な啓発や支援拡大が図られているものと思われま

す。指定難病対象疾患の拡大に伴い、多様なニーズへの対応が求められるなか、様々な難病情報を提供し、難病患者のよりどころになっていく情報誌は今後さらに需要が高まる

ことが予想されます。今後も沖縄県難病相談支援センターとして、難病患者の療養生活支援にご尽力下さいますようお願い申し上げます。

結びに、200号まで継続発行されたことへ敬意を表すとともに、今後の貴法人のさらなるご発展を祈念申し上げ、記念特別号のあいさつと致します。

独立行政法人国立病院機構 沖縄病院

脳・神経・筋疾患研究センター

センター長 諏訪園 秀吾

私は独立行政法人国立病院機構 沖縄病院 脳・神経・筋疾患研究センターのセンター長を勤めさせていただいております。諏訪園秀吾と申します。

当院は、沖縄県で唯一の難病医療拠点病院に指定されております。県主催の「難病医療連絡協議会」という組織で、アンビシャスと連携しつつ、

難病患者さんの相談事業や、重症難病患者さんの入院施設確保事業などを行っております。このようなご縁から、この記念すべき号において祝辞を述べさせていただくことになったかと拝察いたします。

継続は力なり。200号という偉大な足跡に心からの敬意を表します。患者さんたちの生き様とそれを取り巻く

様々な人達の活動を温かい視線で残していくことは、それだけで非常に大きな財産です。難病を持ちながらも様々な情報発信をなさる患者さんの生命力を感じさせていただきつつ、毎号楽しみに読ませていただいております。

これからも当院とアンビシャスは連携を維持強化しつつ、沖縄県の難病患者さんのために活動を継続していくものと思います。その中で、この情報誌がこれからも多くの人々の活力の源になり続けていくことと思います。益々のご継続・ご発展をお祈り申し上げます。

たくさんの方のご協力のもと、 おかげさまで200号、難病情報誌『アンビシャス』の歩み

創刊号から200号まで
主な出来事

2019.1月 Vol.200	2014.6月 Vol.146	2013.8月 Vol.136	2010.8月 Vol.100	2007.9月 Vol.65	2004.6月 Vol.26	2002.1/18 Vol.1
通巻200号発行	表紙のカラー化 スタート	ホームページ用 PDFカラー化	通巻100号発行 メールマガジン 配信開始	音声版スタート	「表紙は語る」 スタート	創刊 「アンビシャス」 難病情報誌

読者の皆様に支えられ 通巻200号

沖縄県難病相談支援センターアンビシャス事務局長 仲村 明

皆様に支えられ難病情報誌「アンビシャス」も200号を迎えることになりました。読者の皆様には毎月ご愛読を頂き深く感謝申し上げます。

当誌はその折々、皆様からのご意見を反映させながら、内容の拡充を図り、読者の皆様と共に歩んでまいりました。また、200号に至るまで長きに渡り発行が継続できましたのは、多くの賛助会の皆様の会費やご寄付によるものです。これまでのご支援に改めて深く感謝申し上げます。その他、会報誌制作に当たり、左記にご紹介する皆様方にも裏方として支えて頂きました。この誌面をお借りし御礼申し上げます。

アンビシャスは今後も皆様に愛され、必要とされる情報誌を目標に、皆様からのご提言を頂きながら、誌面の充実に努めてまいります。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、200号の発行にあたり平素のご支援に加え、多大なる広告のご協賛を頂きました法人の皆様。お陰様でこのように素晴らしい記念誌が出来上がりましたことを厚く御礼申し上げます。

制作協力者

■記事寄稿

[エッセー]

西兼盛 鉄 様 (ALS当事者)

浦崎 綾乃 様 (ALS当事者)

[映画情報・占い]

渡久地 優子 様 (FOP当事者)

■音声版読み上げ /

小波津 正光様

(患者家族・お笑いタレント まーちゃん)

■ホームページアップ /

照屋 朝子様 (MCTD 当事者)

■編集者 /

比嘉 晶子様 (SLE 当事者)

■会報誌折曲げボランティア

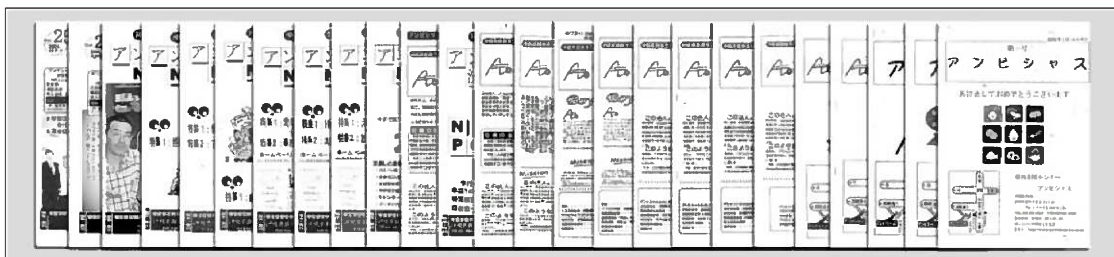
児童発達支援・

放課後等デイサービス

就労継続支援B型事業所

「あるにこ」様

難病情報誌『アンビシャス』これまでの歩み 創刊号～Vol.37



←「表紙は語る、スタート！」



政岡 さおりさん



宮城 真美さん



新里 智代さん



親泊 晶子さん



宮城 真美さん



新垣 私さん



上原 実さん



県委託事業開始



新垣 私さん



伊禮 多喜二さん



渡久地 優子さん



迫 幸治理事長



仲眞 良太さん



Rock'n Roll 05



真境名 由史さん



難病シンポジウム



潮平 千佳さん



村上 江美さん



平成18年総会



森川 正行さん



宮本 勝也さん



豊田 実さん



宮城 真美さん



平安 千代子さん



上地 良治さん



渡久地 優子さん



仲里 靖さん



照喜名 将吾さん



亀島 孝子さん



儀間 大輝さん



平成19年総会



春山 祐希枝さん



比屋根 瑞代さん



伊良波 克子さん



大城 敏恵さん



比嘉 廣好さん



砂川 春美さん



安座間 みゆきさん



島袋 八重子さん



玉城 善明さん



大城 利香さん



新垣 睦子さん



阿波連のり子さん



小波津 正光さん



上原 実さん



新里 美津江さん



大城 陽月さん



ミッキーマウス

難病情報誌『アンビシャス』これまでの歩み Vol.74～Vol.109



田名 優子さん



知名 勝昌さん



真栄城 律子さん

匿名 希望さん
本人の希望で現在掲載していません

宮城 まゆみさん



豊田 実さん



インフルエンザ



田中 文さん



大城 敏恵さん



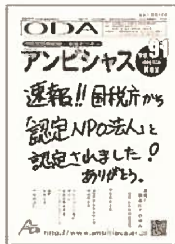
非営利組織経営



比嘉 晶子さん



照喜名 通さん



国税庁から認定



西平 逸樹さん



仲村 實雄さん



西銘 亜希さん



知念 寛さん



平成 21 年総会



平成 22 年総会



滝沢 欣也さん



仲村 格さん



竹村 安津季さん



わらびの会さん



伊波 歩生さん



本永 美代さん



當山 若恵さん



金城 勝也さん



100 号記念誌



高良 美佐代さん



上原 望さん



平成 23 年総会



上江洲 大樹さん



謝花 伊早武さん



山口 彩夏さん



糸数 直さん



玉城 貴子さん



佐久間 みゆきさん



匿名 希望さん
本人の希望で現在掲載していません



伊良波 淳さん



宮城 真美さん



竹田 利恵子さん



諸喜田 美智代さん



大浜 香奈子さん



長嶺 房子さん



上里 栄子さん



松藤 由都子さん



下地 ヒロ子さん



田中 愛子さん



岡本 興一さん



与那覇 正規さん



上江洲 隆さん



我如古 盛健さん



伊是名 恵子さん



安岡 薫さん



新里 玲香さん



具志堅 昭子さん



又吉 忠常さん



石川 翼さん



識名 盛繁さん



船後 靖彦さん



砂川 泰彦さん



康本 園実さん



兼次 律子さん



丸元 三重子さん



奥田 良子さん



山内 寿美子さん



河辺 友代さん



大濱 航士郎さん



金城 太亮さん



山川 朝教さん



井藤 善夫さん



花城 いずみさん

難病情報誌『アンビシャス』これまでの歩み Vol.146～Vol.181



我那覇 美和子さん



佐藤 基緒さん



上里 春香さん



渡久地 優子さん



上原 秀保さん



上園 海さん



新垣 睦子さん



儀間 大輝さん



仲西 智春さん



宮城 義正さん



長崎 静香さん



友寄 英昌さん



知念 豊さん



新里 龍太さん



島袋 貞夫さん



長山 孝さん



桐原 好枝さん



佐久真 良太さん



知念 敏子さん



町井 康雄さん



狩俣 喜美子さん



比嘉 信子さん



宮城 秀明さん



諸喜田 幸代さん



今岡 美佐子さん



前里 清子さん



川口 美怜さん



登川 正美さん



祖堅 善樹さん



大城 盛夫さん



嘉味田 佳晃さん



仲田 浅香さん



岩山 佑一郎さん



宮里 みどりさん



野原 賢一さん



太田 守光さん



宮平 夢乃さん



上原 稚菜さん



竹原 綾さん



砂川 由佳さん



照屋 正宏さん



渡邊 利絵さん



増田 靖子さん



大島 松樹さん



三宅 好子さん



黒木 恵子さん



吉田 晋介さん



石原 八重子さん



東 与一さん



渡久地 優子さん



酒井 ひとみさん



三好 陽子さん



木場 恵美子さん



宮本 恵子さん

「アンビシャス」誌の通巻200号を祝って

慶應義塾大学教授 加藤真三

沖縄の難病情報誌「アンビシャス」が200号を迎えられることお祝い申し上げます。この情報誌が素晴らしいのは、インターネットにのせて全国の人に読んでもらえるようにしていることです。そして、本誌を発行する母体が沖縄県難病相談支援センターでありながら、行政から独立した組織であるところも素敵です。それを支えてくれる土壌が沖縄にはあり、その土壌に種をまいて幹を育てている皆さんの情熱があるからこそだと思っています。

これからの自律する患者会として全国の難病相談支援センターのお手本となる活動をどうぞ継続してください。わたくしも側方から支援すると同時に、このような活動が全国に花開くことを祈念致します。

臨床心理士 鎌田 依里

アンビシャス会報誌通巻200号記念、誠にありがとうございます。この喜ばしい時にご一緒できることをこころより嬉しく思います。いつも会報誌を拝読し、難病を抱えて生きる方の優しさを感じています。そして毎回、たくさんの方の学ばせていただいております。

難病を抱えて生きるからこそ、同病者の力になれることがあると思います。また、難病を抱えていないからこそ、難病を抱えて生きているひとの力になれることもあると思います。立場は違えど、同じ志を抱いているひとが集まることのできる場がアンビシャスだと思っています。共に生き、共に悩み考え、共に喜びをわかちあえる、そのような場で在り続けられるよう祈念しております。

記事寄稿者代表 渡久地 優子

200号おめでとうございます。

アンビシャスとの出会いから早いもので12年。色々な難病と其々の生き方と感じ方があります。本誌は、患者だけではなく、読者の多くの皆様に、希望や勇気や元気を送っていると思います。

これからも、誰かの役に立ち続けられるよう、アンビシャスの活動を応援しています。

表紙は語る

喜納 美和（きなみわ）さん 先天性リンパ浮腫を持つ子の母親として

リンパ浮腫ゆんたく会を通じ共に前進



初めての運動会（祖父母と）

「あれ？このむくみは何？」息子の左足の甲の浮腫に気付いたのは生後14日目の事でした。

2013年11月待ち望んだ第二子。お兄ちゃんは「僕に弟ができ

た!!」と新生児室のガラス越しにキラキラした目で見つめてました。優しく輝く人生を歩んで欲しいと「優輝」と名付けました。

左足の甲だけのむくみ。虫刺され？

明日には引くのかな？不安は募るばかり。生後一ヶ月検診の時や県内の小児科を数件受診するも「原因不明：」益々不安になる日々。何か原因はあるはず。何故わからない？とお医者様に苛立つ事もしばしば。

そんな中、初めての※蜂窩織炎

（ほうかしきえん）を起こしてしまつたのは生後八ヶ月。7月の真夏の沖縄。発症の前日、防波堤で遊び、蒸し暑さで左足首を掻いていました。40度の高熱と左足甲から足首上部にかけ発疹。真つ赤に腫れぐつたり。即、救急外来へ急ぎました。「左足首から細菌が入り増殖して炎症を起こします」そこは県内でも大きな総合病院でしたのでむくみの原因を徹底的に調べてほしいと懇願しました。様々な検査を重ねるも、やはり原因不明。そんな時出逢った小児科のお医者様が「不安ですよ。私が以前勤務していた県立病院にリンパ浮腫外来があります。私は専門医ではないのでわかり

ませんが紹介状を出します」と話して下さいました。リンパ？重病？診察室で次男を抱きながら主人と不安で泣きそうになりました。紹介状を片手にすぐにリンパ浮腫外来を受診。検査入院となりました。検査は両足の指の間から放射線物質を注射しリンパ液の流れをみる造影検査。息子が検査室に入った後、主人と「これで原因がわかったら治療して浮腫が取れて楽になるね!」とお互いに言い聞かせるように話しました。

検査終了後「左足のリンパ管が途中で途切れてない状態です。原因不明の原発性リンパ浮腫です。完治はなく一生のお付き合いになります」と結果を言われました。さつきまで主人と話してた事とは真逆の結果。生後一才三ヶ月の事。その日以来、私達家族の頭の中からリンパ浮腫という言葉が消えた日はないのです。すぐに弾性ストッキングによる圧迫が始まるも子供なので、きつさから



両足

すぐに脱ぎたがりました。保育園でも「足のない子」とからかわれたりもしました。本人がまだ幼く言葉がわからなかったのが幸いでした。その頃両足の甲の差は1cm。よく転んだりもしていました。このままではこの子の体と心はどうなるんだろう。私がリンパについて学ばなければ！と奮起してリンパスクールへ通いました。

そこで沢山のご縁を頂き息子が三才の時、県外の病院でより詳しく検査する事にしました。我が子の体の中で何が起こってる？知りたい一心でした。すると、「左足だけじゃなく右鼠径部のリンパ管も細く発症してないだけで右足もリンパ浮腫です」との結果。両足がリンパ浮腫。一瞬頭が真っ白になりました。それからは毎晩両足のマッサージを欠かさず実践。現在五才の息子は幸い重症化する事なく自分で足のマッサージ

が出来るとなっています。これまでの5年間、10回以上蜂窩織炎（ほうかしきえん）で入院を繰返しました。2018年4月原発性リンパ浮腫が小児慢性特定疾病に認定されました。これを機に保健所、県内のピアサポートセンターやアンビシャスへ県内の小児リンパ浮腫患者様が何人いるのか？を調べてもらいましたが、「県内で同じ病の小児の登録は0人、大人を含むリンパ浮腫患者会もないです」との事でした。「リンパ浮腫の皆さんどの様な日々を過ごしてるのかな？」「弾性ストッキングはどうしてる？」「不安はない？」「もう患者会がないなら作ってしまおう!!」と更に奮起、まずは交流会から。

2018年11月24日「第1回リンパ浮腫患者様ゆんたく会」を開催しました。患者側からの発足という事もあり、告知にはすごく困りました。私だけでは不安なので、息子の病を通じてお友達になったリンパ浮腫専門看護師の友人と、友人の看護師2名にもご協力頂いての開催。集まって下さった5名の方。日々の悩みやケア方法を沢山話してくださいました。「また開催してください」と



母と

嬉しいお言葉も頂きました。そして参加者様の中に二才の男の子を連れてお母さんが。「お母様が患者様ですか？」と何うと「いいえ息子がリンパ浮腫です」と。私は涙が出るのをグッと我慢するも、ポロポロ溢れ出る。

息子にも同じ病のお友達が現れました。ずっと待っていました。「靴はこうして、サポーターはこうして」と写真を見せて下さいました。「どうしていいかわからないんです」とうつつ向かれました。「そうだよね…」5年前の私がいる。不安で頭の中真っ白な私がここにいる。「来てくれてありがとう。これから交流しよう！明るく乗り越えて行こう!!母ちゃんだから」と二人で話しました。すぐ命に関わる病ではない。でも無限の可能性を秘めた将来のある子供達に少しでも充実した人生を歩んでほしい。私が産んだ子供だから

私に責任がある。何度も思いました。でも、下ばかり向いてたら子供も真似て下を向いてしまう。母ちゃん強くなるとね!!

息子は現在幼稚園に通っています。運動会のかけっこは左足を引きずりながらも完走しました。今では最初に紹介状をくれた小児科医、浮腫を通じ出逢えた皆様、家族、日々応援して下さいる皆様に大変感謝の気持ちでいます。皆様からの暖かい思いを忘れずに、息子の成長と共にこれからやってくる課題を楽しみながら浮腫に負けず前進して行きます。二才のお友達と、これから出逢うであろう小児原発性リンパ浮腫の子供達と共に。

※2019年も「リンパ浮腫ゆんたく会」を開催予定です。ゆんたく会には成人のリンパ浮腫の方、術後に発症したリンパ浮腫の方も歓迎です。是非お越しください。

蜂窩織炎とは

皮膚の深い層から皮下の脂肪組織にかけて細菌が感染し、炎症を起こす病気です。細菌に感染すると、その部位が腫れて赤くなり、痛みが生じます。

アンビシャス通信

2018

11月の報告

あれこれ



全国難病センター研究会

11月3、4日に北海道にて開催された全国難病センター研究会に参加してきました。この研究会は年2回全国各地で開催されており、今回で第30回目となります。難病当事者の方や難病相談支援センター職員、各関係機関など難病の支援や相談に関わる方々の知識、技術などの向上を目的とした研究大会です。

今回の研究会では照喜名が平成24年度から沖縄県より受託している「非常時電源確保事業」に関する発表を行いました。本事業を受託した経緯や現在の支援状況、支援を通して見えてきた課題について報告を致しました。また、研究会に参加したいが様々な理由で会場まで行くことが難しい方のために、ネット上(Ustream)で同時配信も行っております。その際、撮影し

た映像を編集し、DVDも作成しています。

その他、5年保存の災害備蓄用パンをサンプルとして頂きました。試食してみると長期保存用とは思えないほど、とても美味しいパンで備蓄用の食品としてぜひ準備したい一品です。

医療相談会(下垂体系疾患)

今年度より琉球大学附属病院の池間朋己先生のご協力を頂き、初めての下垂体系医療相談会を11月12日に実施致しました。

池間先生は去年沖縄で初めて実施した下垂体系医療講演会で講師をされており、下垂体系の情報が少ないことも有り、その場でご要請、快諾を頂き今回の医療相談会が実現しました。

「処方された薬をきちんと飲んでいますが、効いている感じがしない。このまま飲み続けるべきか他の医師の話を聞いてみたかった。」「数値が高いため治療が必要と言われたが、自覚症状もないのに治療しなければいけないのか?」といったご相談がありました。一つ一つの質問に丁寧にお答えになられており、

参加された方から「ゆつくりお話を聞くことが出来て良かった。安心しました。」といった声がかれました。

池間先生、お忙しい中ありがとうございました。



ヘルプマークが導入されました!

11月から沖縄県でもヘルプマークがスタートしました。県からアンビシャスでも案内して欲しいとの要請があり、ホームページや会報誌などで案内を行って

おります。

ヘルプマークの記事を見たテレビ局から取材の依頼があり、実際にヘルプマークを利用している方のお話しも伺いたいということで、膠原病友の会の阿波連さんをご紹介させて頂きました。夕方のニュースで取り上げられ、実際にヘルプマークを身に付けて、ゆいレールを利用する阿波連さんの姿やヘルプマークの紹介、また照喜名からはヘルプマークの周知を求める提言をしました。

まだまだ沖縄県内ではあまり知られていないヘルプマークですが、今後もアンビシャスとしてヘルプマークの認知度の向上と普及拡大に努めて参りたいと思います。

※ヘルプマークご希望の方は、お住いの市町村福祉関係の窓口でお求めください。



家族とは

こころの現場から



新年明けましておめでとうございます。皆様にとつて、幸多き年になるよう、こころより祈念しております。

今回は「家族とは何か」について考えてみます。

皆さんは、「家族」と聞くと何を思い浮かべますか？温かい食卓を囲んで団欒すること、困ったときに助けてくれること、一緒に楽しく旅行に行くこと等、家族というものにポジティブな感情を抱いているひとも多いです。一方で、家族に恵まれなかったひとも少なくありません。愛されるべき存在の子どもが、様々な要因が重なることによつて「自分は生まれてこなかったほうがよかったのではないか」と、自分の存在価値を根底から揺るがす疑問を抱いてしまうこともあります。このように思つたひとは、次の世代に見返りのない愛情を注ぐことが難しい傾向があります。しかし努力をして次の世代に惜しみなく愛

情を注いでいるひともいます。里親・里子や養子縁組や、血の繋がりのない家族もあります。「家族のような繋がりがだ」とか「家族以上の関係だ」等としばしば言うように、家族の質は様々です。

家族の在り方は、個人に深刻な影響を与えます。自分の家族を振り返り、自分がどのように感じてきたかを改めて考えてもよいかもしれません。そして、ひととの望ましい繋がりとはいかなるものがあるかを考え、できるだけ素直に愛情を注ぐことができる家族の在り方を見いだしてみるのもよいでしょう。親であるあなただからできること、子であるあなただからできること、配偶者であるあなただからできること等、あなたにしかできないことがあるはずです。あなたにしか救えないひともいます。ふとそのようなことを思いながら家族と接してみてもよいかもしれませんね。



臨床心理士
鎌田 依里
(かまだ えり)

つばきチャンネル

不闘で、今にのみ意識を制御する



先日、保健所から「難病のある人のための就労講演会」の中で、難病を持ちながら就労をしている先輩としての体験談を依頼され、恥ずかしながら、私なりに波乱万丈な経験をお話ししました。

全国難病センター研究会等で、全国の相談センターの相談員や、医師を含めた多職種の方への発表を今月だけでも2回行いましたが、難病患者さん向けに講演をする機会は意外と少ないのです。

事前アンケートでは、難病患者はどんな生活をしていますか？難病患者は働けるのですか？との質問が多く、恐らく難病患者との交流や情報交換をしていないのでしょう。医師から病名や治療方法は説明されているのですが、在宅で暮らしていく生活全般の話を知らないのでしょうか。インターネットやテレビからの情報だけでは身近に感じないと思われれます。

また、その背景には中々受容できず、敗北感で本来の自分の力を見失っているのではとも思えてきます。

治療方法が確立して無く、長期の療養が必要な事が、法律という難病なので、簡単には勝てない長期戦なのです。闘わずして、失ったものを見るのでは無く、今ある残されたものに感謝して、毎日生きていく事や出来ている自分を褒め自信を持つて生きていきたいものです。

難病と闘わず、足るを知り、過去も未来もこたわらず、今のこの瞬間に意識を集中し、難病などコントロールしちゃえ!!



著:照喜名 通

シリーズ「患者学」第45回

慶應義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

自己肯定感をもつためには

第50回の公開講座患者学では自己肯定感が後半にワールドカフェスタイルで対話をするためのテーマとなりました。今回はその対話の中でわたしが考えさせられたことを述べたいと思います。

公開講座前半の話題提供の中で、講演者が「アート療法の1つとして生け花を経験したときに、自分の好きな花を自分が選んだ花瓶に自分の好きな形で花をいけることにより、自己肯定感が上がってくることを感じた」と話したことがきっかけになりました。教育関係の出版社にいつもある参加者は、「日本の学生は世界各国の若者に比べて、学業成績はよいのに自己肯定感が低い」と発言したので、この自己肯定感は病気と一体どう関係するだろうと、後半の対話

のテーマとなりました。

わたしは自己肯定感が高い方がよいことと考えていたので、ある参加者が「自己肯定感の高い人って嫌だよね」と発言したことは衝撃でした。どうも、自己肯定感の強い人は、自我ばかりが強くて周りとの調和を乱す、あるいは自分の傲慢話ばかりしたがる困った人という印象があるようです。自己肯定感が高いと思われる人が、そんな行動を示したということなのでしょう。日本では「和を以て貴しとなす」の考えが根強く、調和を何よりも重んじられがちです。したがって、「あの人は個性的だね」と言う言葉も、ある種の悪口として使われることが多いのです。

その辺が、日本の学生の自己肯定感が低いことと関係しているのではないのでしょうか。つまり、周りに合わせることで、自分を押し殺

すことが良しとされる教育が行われているのです。同調圧が強く、自分を出さないことが良しとされる中で自己肯定感が育つわけがありません。

対話の中で、ある参加者が、子供の頃から成績のよい姉と比べられて育てられたために、ただでさえ自己肯定感が低かったのに、病気になって自己肯定感がさらに下がったと発言されていたことが印象的でした。自己肯定感が低くなると患者の力は発揮できません。今までの医療では患者の力など無用のものとされてきた歴史もあつたでしょうが、これらの医療では自己肯定感が高くて患者の力を発揮することが必要とされます。

それでは自己肯定感はどういう人で高くなるのでしょうか？自己肯定感はいささか小さいときから親などにほめられて育った人で高いのではないかという意見もありました。一方で、わたしは自分のやっている研究がずっと周りの人から評価されなかったのに、何クソと続けてきたから自己肯定感

を持てるようになったという人もいました。

他者からの評価は人が育つ上で当然大きな影響を与えるでしょうが、それはネガティブな評価でもポジティブな評価であつても、自己肯定感を育むのではないかと考えている人がいることが不思議に感じられました。そして、そもそも、自己肯定感とは他者からの評価ではなく自分自身の評価の上に生きる感覚をさすのですから、なぞはより深くなります。

次号に続く



加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。85年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。85-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。



患者の力 患者学で見つけた医療の新しい姿
出版社：春秋社

「患者には力がある！」毎日を健康に生きるために、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なことは。

東洋経済オンラインに加藤先生による
「市民のための患者学」連載配信中！
<http://toyokeizai.net/articles/-/143366>

アンビシャス
広場

エッセイ 西兼盛 鉄さん(ALS)

9月23日3時からモアイを
開催しました。

場所は、去年新築した僕の家。

メンバーは20歳の頃から

今現在61歳まで31年続いている。

モアイ仲間9人、

僕もその中の1人です。

1年ぶりに顔見て楽しく、

2人は酒を飲みすぎて、

ベロベロに酔つておいしかったはず。

残りの仲間は一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

みんな盛り上がっている途中で

僕の腹具合が悪くなつてしまい、

そこでモアイはおしまい。

※モアイ（模合）：



お勧め映画情報

「グレイテスト・ショーマン」

ヒュー・ジャックマン主演
ミュージカル映画。

CM等で見えていた印象とは違い、凄く良かった。
あらすじを知らずに観たのが、功を奏した感じ。
良い意味で、裏切られました。
ということで今回はストーリーは申しません。
誰かが勇気づけられる作品かもしれません。

渡久地 優子

(進行性骨化性線維異形成症(FOP))

カラーセラピーやパワーストーンも好きで、時々、ネットで見えます。

難病短歌 難病川柳

難病川柳

難病がある方や家族の方から短歌・川柳を募集しております。採用の方には寄稿料として千円相当のクオカードを進呈します。メールや電話のFaxにてご連絡先も記載の上、お気軽にご応募ください。

夜寝ない
ネット依存で
新やまい

懲らないMenMenさん(クローン病)
ネットゲームにはまり、不眠症という病が新たに加わる

難病短歌

耐えても すぐに倒れる ヨガポーズ
出来たポーズは 猫背と仰向け

樹々さん（パーキンソン病）
ヨガ教室に参加した一コマ。
あぐらひとつ組めず、体幹の恵さ、固縮に気づきました。

今月の占い

リ=リフレッシュ法

牡羊座 3/21-4/19 ————
整理整頓で心をスッキリ リ…睡眠

獅子座 7/23-8/22
笑顔で終われる行動を リ…買物

射手座 11/22-12/21 ————
許せる心意気を持って リ…読書

牡牛座 4/20-5/20 -----
癒されるモノを見つけて リ…深呼吸

乙女座 8/23-9/22
振り回されない強さを リ…映画

山羊座 12/22-1/19

双子座 5/21-6/21
生活環境を変えてみて リ…散歩

天秤座 9/23-10/23
生活の乱れに気を付けて リ…食事

水瓶座 1/20-2/18

蟹座 6/22-7/22

蠍 座 10/24-11/21
希望や楽しみを見つけて リ…歌唱

魚座 2/19-3/20

沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2019年 1月の各団体定例会・交流会スケジュール



※200号記念特別号につき今月のみ若干のページ構成変更がございます。『患者団体からのおたより』と『編集後記』はお休みとさせていただきます。

団体名	日(曜日)	時 間	場 所
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	9日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所3階 小会議室
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会	12日(土)	14:00~16:00	八重山保健所
あいのかい 愛・Eyeの会(宮古地区・網膜色素変性症患者会)	12日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	15日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ研修室2
神経難病友の会八重山	17日(木)	14:00~16:00	石垣市健康福祉センター ボランティア推進室
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	19日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(火)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐくる館 参加希望の方は下記迄連絡をお願いします。
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	27日(日)	16:00~18:00	サンアビリティーズうらそえ 研修室
全国パーキンソン病友の会沖縄県支部	27日(日)	11:00~16:00	新年会 沖縄県総合福祉センター(ゆいホール) 参加費一人3,000円

※詳細は下記患者団体連絡先へお問合せください。

沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代 表 者	連 絡 先
OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会	黒 島	(久高)080-4119-1241 (安谷屋)090-7989-2130
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井上 栄治	(井上)090-5937-5292
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 メール:k-mi-ya-18@docomo.ne.jp
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 メール:yuna@kougen-okinawa.jpn.org
もやの会沖縄県ブロック	金城 忠英	(金城)080-2719-4650
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉)090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	中村 勉	(島田)090-3418-7982
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841
沖縄県網膜色素変性症協会	長嶺 房子	北 部 部 会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中 部 部 会(又 吉) 電話:090-3797-4125 南 部 部 会(譜久島) 電話:080-1766-2669 八重山部会(平 良) 電話:090-5081-5622 宮 古 部 会(伊良波) 電話:090-8294-6174
神経難病友の会八重山	黒島 里枝	(黒島)090-5470-7485
八重山クローン病・ 潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109
とうんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい)	砂川 泰彦	(砂川)080-1536-9287
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会	仲西 智春	(仲西)090-9585-9259
沖縄サルコイドーシス友の会	祖堅 善樹	(祖堅)080-9851-5758 (仲榮真)090-6856-9274

— 2019年1月の各保健所からのご案内 —

- 【北部保健所】Tel:0980-52-2704 1月の予定はございません。
【中部保健所】Tel:098-938-9883 1月の予定はございません。
【南部保健所】Tel:098-889-6945 1月の予定はございません。
【那覇市保健所】Tel:098-853-7962 1月の予定はございません。
【八重山保健所】Tel:0980-82-3241 1月の予定はございません。
【宮古保健所】Tel:0980-72-8447 1月の予定はございません。

難病コミュニケーション支援研修会

- 【日 時】平成31年**2月2日**(土曜日)14:00～18:00(受付:13:30)
2月3日(日曜日)10:00～16:00(受付:9:30)
【会 場】沖縄空手会館(旧豊見城城址公園)(住所:豊見城市豊見城854-1)
【対象者】難病患者、障がい者、家族、医療従事者、保健師、相談支援員、介護支援専門員、ヘルパー、
県・市町村等自治体職員、学生、コミュニケーションに興味のある方
【参加費】2,000円(資料代含む) ※難病患者、障がい者は**半額**、付き添いは1名まで**無料**。
【内 容】透明文字盤、口文字、最新の視線入力装置(4機種)。iPadを使ったアクセシビリティ、各種
スイッチの工夫等。補装具「意思伝達装置」申請制度について
【主 催】一般社団法人日本難病・疾病団体協議会
【共 催】NPO法人ICT救助隊、沖縄県難病相談支援センター(認定NPO法人アンビシャス)
【後 援】日本ALS協会沖縄県支部、沖縄県障がい者ITサポート
【申込先】沖縄県難病相談支援センター(認定NPO法人アンビシャス) TEL:098-951-0567(平日10:00～17:00)
【申込締切】平成31年1月15日(火曜日)17:00まで

治療と仕事の両立支援～生き生きと働ける職場を目指して～

- 【日 時】平成31年**1月17日**(木曜日)14:00～16:00(受付13:30～)
【会 場】沖縄産業支援センター 3階 中ホール(住所:那覇市小禄1831-1)
【内 容】**第1部** 14:00～15:00「両立支援の取り組み事例」
①「治療をしながら働く～サバイバーとして伝えたいこと～」
講師:藤田歩美(若年性がん患者会Be style代表)
②「難病を持ちながら働き支える立場から」
講師:照喜名通(沖縄県難病相談支援センター センター長)
③「企業の取り組みから(仮)」～企業の視点から～
講師:沖縄電力株式会社
第2部 15:00～16:00
「現在のがん治療と患者のQOLについて、これからの両立支援の必要性とは」
講師:増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長)
【申込先】沖縄産業保健総合支援センター(TEL:098-859-6175)

医療相談会(膠原病系疾患)

- 【日 時】平成31年**3月25日**(月曜日)14:00～16:00(お一人30分×4組)
【会 場】沖縄県難病相談支援センター(那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1F)
【対象者】全身性エリテマトーデス、強皮症などの膠原病系疾患
【医 師】首里城下町クリニック 比嘉 啓 先生
【申込先】沖縄県難病相談支援センターアンビシャス TEL:098-951-0567(平日10:00～17:00)



難病情報誌アンビシャス
通巻200号おめでとうございます

おいしい水、生み出す力。

麦飯石の水



株式会社アクティブ

「在宅型就労移行支援」の新しいサービスが
はじまりました！

これまで通所での就労移行支援を受けることが難しかった
障害をお持ちの方や難病の方々へ向けた“自宅で働くこと”
を目指し在宅での訓練・就職に特化しあなたの“働きたい”を
サポートします。

※受付・相談、詳細については「どこでもWork」までお気軽に
お電話ください。

在宅就労支援事業団 那覇

どこでも **Work**

<http://www.dokodemo-work.com>

TEL:098-987-4336 FAX:098-987-4336

mail:info@dokodemo-work.com



停電・緊急時の防災用低圧ガス発電機の総代理店

矢崎エナジーシステム株式会社

代表取締役社長 矢崎 航

東京都港区三田1-4-28 TEL.03-3455-5611

有限会社沖縄矢崎販売

代表取締役社長 西園 義弘

浦添市城間1-12-8 TEL.098-878-0859

ーよい住まいづくりに奉仕するー

長 株式会社 長堂材木店

代表取締役 長堂 昌太郎

〒901-2204

沖縄県宜野湾市上原2丁目5番6号

TEL:098-893-1414 FAX:098-892-5786

<http://www.nagado.jp>

〃地域と医療を結ぶ〃



医療機器・医療材料の販売、修理

株式
会社

沖繩三和メディカル

〒901-2223

沖縄県宜野湾市大山7丁目9番13号

電話 098-942-9876

FAX 098-898-5551

E-mail sanwa-md@southernx.ne.jp

<http://sanwa-md.sakura.ne.jp/>



ねたて内科クリニック

内科・脳神経内科・リハビリテーション科 (外来・難病)



院長 花城 清祥

日本内科学会認定内科医
日本神経学会認定神経内科専門医
沖縄県難病指定医

ねたて内科クリニックでは、パーキンソン病などの神経難病疾患の内服治療、専門リハビリテーションを行っております。お気軽にご相談ください。



〒901-2226 沖縄県宜野湾市嘉数1-22-5
TEL 098-890-1500 FAX 098-890-1501
URL <https://netate-clinic.com/>



交通事故 相続 離婚 借金問題 B型肝炎給付金

「相談して良かった」という声を多数頂いております!!



代表社員弁護士 岡野 浩巳

ご相談は
何度でも
無料

※個人のお情報のみとさせていただきます。

フリーダイヤル **0120-55-7840**

～ SPEED & PASSION ～
弁護士 法人 **岡野法律事務所**

はいさい那覇支店 社員弁護士 安本 良太

〒900-0023 沖縄県那覇市楚辺1丁目5番17号 プロフェスビル那覇3階
<http://www.okano-okinawa.jp/> 岡野法律事務所 沖縄 検索



安心してお任せいただける
地域のかかりつけ歯科医を目指して!

さわやか歯科クリニック



予防歯科・非抜歯矯正
インプラント・訪問診療
院長

城間 健

〒902-0064 那覇市寄宮173番地の1

TEL. 098-**854-8211**

FAX. 098-854-8212



大城税理士事務所

株式会社アイディー

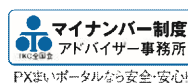
認定経営革新等支援機関

所長 税理士

大城 逸子

Oshiro Itsuko

〒901-2227 沖縄県宜野湾市字宇地泊251番地
Tel: 098-890-2280 Fax: 098-890-2281
E-mail: itsuko.oshiro@tkcnf.or.jp



マイナバー制度
アドバイザー事務所
PXまいポータルなら安全・安心!



医療法人 寿の会

首里城下町クリニック 第二

SHURI JOKAMACHI CLINIC

腎臓病、高血圧症、リウマチ・膠原病
糖尿病、循環器疾患、その他内科一般
血液透析 (外来)

医師 田名 毅・比嘉 啓

第一クリニック 第二クリニック

TEL 098-885-5000 TEL 098-833-1001

FAX 098-885-5007 FAX 098-833-1006

ホームページURL <http://www.shuri-jc.jp/>



ずっといっしょ。ずっとしあわせ。
株式会社 照正組



(社) 日本義肢協会・九州第155号
有限会社 J-Taiyou 義肢
沖縄県指定福祉用具貸与事業所

〒904-0012

沖縄県沖縄市安慶田4丁目17番11号
電話 (098) 930 - 0275
FAX (098) 930 - 0313

世界の医療情報をお届けする。

SWM SOUTH WEST MEDICAL INTELLIGENCE 南西医療器株式会社

本社

〒901-2133 浦添市城間4-2-10
Tel:098-870-1515

SWM-INTELLIGENCE CENTER

〒901-2133 浦添市城間4-10-7
Tel:098-870-0505

宮古営業所

〒906-0012 宮古島市平良字西里975-4
我如古マンション102 Tel:0980-74-2265

RCふくおか

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-18-30
八重洲博多ビル507 Tel:092-433-7585

熊本営業所

〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目25番7号
パワービル301 Tel:096-285-5811

鹿児島営業所

〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目33-17
カシータ・荒田1階 Tel:099-230-7950



医療法人 おもと会 訪問リハビリテーション

40名のスタッフで細やかなサービスをお届けします。
0歳から100歳以上の方、みなさんが対象です。
ご自宅で「一緒に」あなたらしい生活を目指します!

意思伝達装置の練習
家でできる運動の紹介 トイレやシャワールの練習
便利な福祉用具の選定と練習
外出の練習など生活に必要なリハビリです。

大浜第一病院訪問リハビリテーションセンターあめくの杜
☎866-3357(担:末吉)

クリニック安里 訪問リハビリテーションセンター
☎869-5835(担:上原)

大浜第二病院 訪問リハビリ ☎851-0103(担:糸山)
訪問リハビリぎのわんおもと園 ☎898-1070(担:高嶺)
統括訪問リハビリテーション科 ☎851-0015(担:宇田)

太陽印刷は確実、格安、スピードに自信を持つプレス集団。

POSITIVE & VITALITY

**オフセットカラー印刷・活版印刷
小ロットオンデマンド印刷
シール・ステッカー印刷**



有限会社 太陽印刷

代表取締役 新垣 健一

〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝88番地
TEL.098-868-4063 FAX.098-862-5238
◆<https://taiyou-p.wixsite.com/taiyou> ◆E-mail:info@taiyou-p.jp



ファイザー株式会社は、NPO法人日本視覚障害者柔道連盟のオフィシャルパートナーです



Working together for a healthier world™
より健康な世界の実現のために

ファイザーでは、患者さんを最優先に考えるという“Patients first”の理念を大切にしています。
これからも研究開発型の医薬品企業として、“より健康な世界の実現のために”、
患者さんの生活を大きく改善する革新的な治療法を提供して参ります。

ファイザー www.pfizer.co.jp

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人 ●全保連株式会社 ●株式会社 アイアム ●株式会社 いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々 ●驥尾の会 ●株式会社 ぽーしょん ●匿名2名

11月のご寄付 ●株式会社 パートナー ●ギャラリーカフェ「海ばた〜」 ●宮城 義正

●横山 太一郎 ●かりゆしグループ・ホールディングス株式会社

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

11月のご支援・ご協力

●難病情報誌199号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

児童発達支援・放課後等デイサービス、就労継続支援B型事業所「あるにこ」さん

●有限会社FECオフィスよりFECお笑い劇場の優待チケットを6枚頂きました。

※千羽鶴ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

●全保連株式会社 ●全保連コントロールセンター ●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ〜
●フォーモストブルーシール北谷店 ●MISTY本店・美浜店 ●株式会社K.Turtles ●有限会社育英堂書房 ●てだこボウル
●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく ●花野原 ●株式会社照正組 ●三郎寿し ●ホテルまるき ●水のサンクス
●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉葉 ●恒和ペイント株式会社 ●さわやか歯科クリニック ●auショップ久茂地店 ●山城二輪
●ギャラリーカフェ 海ばたー ●しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
●豚骨拉麺昇家 ●沖縄ちゃんぶるーネット (イオン那覇店1階) ●沖縄宝島 (イオン南風原店1階) ●オリオンビール株式会社
●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●串焼き屋あだん ●上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店
●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●株式会社かりさら ●ジョッキハウス ●有限会社だいにちシール ●沖縄県栄養士会
●株式会社いなんせ典礼 ●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ

法人賛助会員 順不同敬称略

●全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●株式会社 アイアム ●弁護士法人 岡野法律事務所 ●株式会社クオサ ●医療法人 かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社 ●しゅくみね内科 ●有限会社太陽印刷 ●株式会社 メガネ一番 ●株式会社 名城 ●高良登記測量事務所 ●オリオンビール株式会社 ●株式会社ざまみダンボール ●水のサンクス
●社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●株式会社 長栄材木店 ●株式会社 アース ●プログレス ●有限会社 沖縄 矢崎販売 ●ふたば訪問看護ステーション ●かりゆしグループ・ホールディングス会社 ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜 ●中部協同病院 ●南西医療器株式会社 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 麦飯石の水 ●訪問看護ステーションいのり ●友愛会 訪問看護ステーション ●株式会社大成ホーム ●株式会社ケアコネクト ●たつや脳神経外科 ●かなしろ内科 ●いくみ皮膚科クリニック ●首里城下町クリニック第一 ●首里城下町クリニック第二 ●訪問看護ステーション みかん ●外間眼科 ●西崎病院 ●岸本 外科リハビリクリニック ●大宮医院 ●さなクリニック ●しんざと内科 ●伊佐内科クリニック ●愛聖クリニック ●沖縄病院 ●稲福内科医院 ●牧港眼科 ●訪問看護ステーションうんな ●こころクリニック ●嶺井第一病院 ●こばし内科クリニック ●恩納クリニック ●南部徳洲会病院 ●城間クリニック ●長濱眼科 ●株式会社ケイオーパートナーズ ●なかむら内科おなかクリニック ●はいさいクリニック ●潮平病院 ●はびねず訪問看護ステーション ●有限会社 タカラ ●りゅうしん老人訪問看護ステーション ●すながわ内科クリニック ●外間眼科医院崇元寺 ●岸本外科医院 ●玄米クリニック ●いちょう内科あしとみ ●同仁病院 ●下地第2脳神経外科 ●松岡医院 ●まつおTCクリニック ●かなさん内科クリニック ●沖映通り眼科 ●まみ皮膚科クリニック ●又吉内科クリニック ●訪問看護ステーション はっぴー ●りんご調剤薬局 浦西店 ●訪問看護ステーション あんじゅ ●ハーモニー薬局 ●くすみ薬局 ●和ごころ薬局 さつき店 ●空と海とクリニック ●聖隷訪問看護ステーションゆい ●訪問看護ステーションこころのかて ●那覇かなぐすく皮膚科 ●ねたて内科クリニック ●エクスプロア訪問看護ステーション ●訪問看護ステーションいやしの邦 ●沖縄メディカル訪問看護ステーション ●まなざし訪問看護ステーション ●神谷医院 ●サザン歯科まえた ●おもと会 訪問リハビリテーション ●訪問看護ステーションおもととよみの杜 ●訪問看護ステーション エール〜応援〜 ●うりずん薬局 松尾店 ●サンキュウファーマシー 名護店 ●ハートライフ病院

難病無料相談(電話・来所・メール) 難病のこと、それに伴う不安や家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。

☎098-951-0567 ✉soudan@ambitious.or.jp

平日10:00~17:00 (休:土日祝日・年末年始)

※ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。

アンビシャス 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)
Tel:098-951-0567(代表) <http://www.ambitious.or.jp>
発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長:迫 幸治

